

様式第 3 号

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		令和 7 年度 第 4 回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会		
事務局（担当課）		土木部交通政策課		
開 催 日 時		令和 8 年 1 月 1 5 日（木） 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0		
開 催 場 所		アステ市民プラザ ルーム 3		
出 席 者	部 会 員	日野泰雄、大村 匡（代理出席）		
	地 域 代 表	植木 信嘉、嶋川 幸三		
	事 務 局	【土木部交通政策課】 金森課長補佐		
傍聴の可否		否	傍 聴 者 数	—
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由		川西市地域公共交通会議規則第 5 条第 6 項の規定により非公開		
会 議 次 第		1. 開会 2. テーマ (1) 令和 11 年度のバス運行方針（案）について (2) 牧の台コミュニティ協議会の実施計画書について (3) その他 3. 閉会		
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり		

概要

1. 開会

2. テーマ

(1) 令和 11 年度のバス運行方針（案）について

〈主旨〉令和 11 年度のバス運行方針（案）の共有

〈主な意見〉

- ① 本来、部会とは、バスの運行を継続するためにどのような取組が必要かということを議論するところである。ただ、牧の台地域はこれまでの経緯もあるため、運行ルールを地域公共交通会議の協議事項とすることは吝かではない。
- ② 目標数値の達成が中心的な議論ではなく、将来の移動サービスについてバスの運行が維持できなくなってから議論を開始するのでは遅いため、若い世代のためにも今から議論することが重要。
- ③ 目標人員を達成していれば経費が 1,500 万円を超過しても目標達成ということだが、どの程度まで許容されるのか。経費の増額に対しては好意的に目標達成としていただいているが、経費や人件費の高騰は先が読めない。
- ④ 運行ルールについては、令和 8 年 2 月 23 日（月・祝）に予定している市長タウンミーティングで説明する。それまでに地域でも上記の内容を共有した上で議論いただきたい。

(2) 牧の台コミュニティ協議会の実施計画書について

〈主旨〉実施計画書案の共有

〈主な意見〉

- ① 無料乗車券について、第十公園でマルシェを兼ねてビアガーデンを年 2 回実施することとし、春は 5 月 9 日、10 日を予定している。秋も時期は未定だが 2 日間実施したい。
- ② バス 1 日無料 Day は 5 万～10 万円で実施できる。
- ③ 事業計画については、「何を実施する」⇒それによって「何がどうなる」⇒「評価」（計画の再検討あるいは効果的対策の実施の検討）となる。イベントによる効果が十分でなくても、その結果を踏まえて、改善して次の工夫を考える。バス無料 Day は IC タッチ等を利用しないので、誰かが乗車人員をカウントする必要がある。
- ④ イベントの案内を能勢口駅前などに範囲を広げて周知してはどうか。
- ⑤ 事業計画には、「将来の移動サービスの検討」や「若年層を対象にしたワークショップの開催」といったことを加える必要があるのではないかと。本来は、目的があって、その目的のためにどのような取組をするのか、その結果(効果)を踏まえて次のステップという流れになる。
- ⑥ 事業計画については、次回に修正案を協議する。

(3) その他

- ① 次回は、令和 8 年 3 月 5 日（木）14 時から開催予定とし、会場は後日案内する。

3. 閉会